

令和5年度 公社等経営評価シート
(対象期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日)

概要	名称	公益財団法人宮崎県機械技術振興協会		所在地	延岡市大武町39番地82		
	電話番号	0982-23-1100		ホームページ	https://www.mmtc.or.jp/		
	設立年月日	昭和54年2月17日	代表者	理事長 読谷山 洋司	県所管部・課	商工観光労働部 企業振興課	
	総出資額	3,000千円		県出資額	1,500千円	県出資比率	50.0%
	設立目的	機械金属工業の技術指導、調査研究等を行うことにより、本県機械金属工業の振興に寄与することを目的とする。					
特記事項	宮崎県機械技術センター指定管理者の指定を受けている。 (指定期間：平成18～20年度、21～25年度、26～30年度、令和元～5年度)						

内容		令和3年度	令和4年度	令和5年度
①公社等のあり方 見直し	機械技術センターの適切な運営を図るための協会運営効率化等の検討	企業等を訪問し、センターの管理運営に関する要望等の聴取を行った結果に基づき、運営方針を検討した。	機械技術センターの適切な運営を図るための協会運営効率化等の検討	機械技術センターの適切な運営を図るための協会運営効率化等の検討
②公社等の 経営見直し	経営・事業 運営改善	利用者満足度調査のほか、技術講習会・セミナー開催時にアンケート調査を行い、ニーズの把握と改善の方策を検討した。	事業の点検・見直し	事業の点検・見直し
	財務改善	事業経費の適正な執行	協会財務規程に基づき、適正な執行を行った。	事業経費の適正な執行
	組織等適正化			
③県と 公社等 の関係 見直し	人的支援見直し			
	財政支出見直し			
④情報公開推進	ホームページでの情報公開の充実	セミナー開催の案内、各設備機器の担当職員、財務状況等の内容をホームページで公開したほか、メルマガや情報誌を利用した情報発信を行った。	ホームページでの情報公開の充実	ホームページでの情報公開の充実

	(人)	令和4年度				令和5年度			
		合計	県職員	県退職者	左記以外の者	合計	県職員	県退職者	左記以外の者
人的支援	役員数	14	0	1	13	13	0	1	12
	常勤	1	0	1	0	1	0	1	0
	非常勤	13	0	0	13	12	0	0	12
	職員数	3	0	1	2	3	0	1	2
財政支出等	(千円)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	(千円)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	県委託料	59,417	58,545	58,340	県借入金残高	0	0	0	
	県補助金	0	0	0	県の損失補償契約等に基づく債務残高	0	0	0	
	県交付金・負担金・出資金	0	0	0	県職員人件費(県支給分)	0	0	0	
その他の県からの支援等									

主な 県 財政 支出 の 内容	事業名	事業内容	令和4年度	令和5年度	種別
			決算額(千円)	予算額(千円)	
①	機械技術センター管理運営事業	公の施設である宮崎県機械技術センターの管理運営及び使用料・手数料の徴収事務	58,340	58,903	指定管理料
②					
③					
④					
⑤					

実施事業	宮崎県機械技術センターの管理運営業務（指定管理者）						
	指標名	算式（単位）	令和4年度			令和5年度	令和6年度
活動指標	① 技術相談件数	(件)	目標値	実績値	達成度(%)	目標値	目標値
	② 設備利用件数	(件)	340	362	106.5%	340	340
	③ 企業巡回訪問件数	(社)	370	387	104.6%	370	370
			70	78	111.4%	70	70
指標の設定に関する留意事項							

財務状況	正味財産増減計算書 (千円)			貸借対照表 (千円)			
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
経常収益	60,704	59,810	59,596	資産	18,006	18,809	18,305
経常費用	60,745	59,906	59,734	流動資産	11,368	13,458	13,696
当期経常増減額	-42	-95	-139	固定資産	6,638	5,351	4,610
経常外収益	1,520	0	0	負債	3,169	4,068	3,703
経常外費用	0	0	0	流動負債	3,169	4,068	3,703
当期経常外増減額	1,520	0	0	固定負債	0	0	0
当期一般正味財産増減額	1,478	-95	-139	正味財産	14,836	14,741	14,602
一般正味財産期首残高	10,358	11,836	11,741	指定正味財産	3,000	3,000	3,000
一般正味財産期末残高	11,836	11,741	11,602	(うち基本財産への充当額)	3,000	3,000	3,000
当期指定正味財産増減額	-1,520	0	0	(うち特定資産への充当額)	0	0	0
指定正味財産期首残高	4,520	3,000	3,000	一般正味財産	11,836	11,741	11,602
指定正味財産期末残高	3,000	3,000	3,000	(うち基本財産への充当額)	0	0	0
正味財産期末残高	14,836	14,741	14,602	(うち特定資産への充当額)	0	0	0

*千円未満を四捨五入して表示しているため、合計の金額と一致しない場合があります。

財務指標	指標名	算式（単位）	令和4年度			令和5年度	令和6年度	
			目標値	実績値※	達成度(%)	目標値	目標値	
①	県補助金等比率	(県委託料+県補助金+県交付金・負担金等) / 経常収益 × 100 (%)	93.0	97.9	94.7%	93.0	93.0	
	※ 令和4年度 実績値の算式	(58,340千円+0千円+0千円) / 59,596千円 × 100						
	② 人件費比率	(人件費 / 経常費用) × 100 (%)	60.0	58.3	102.8%	60.0	60.0	
	※ 令和4年度 実績値の算式	34,853千円 / 59,734千円 × 100						
③								
	※ 令和4年度 実績値の算式							
指標の設定に関する留意事項								

直近の県監査の状況	
-----------	--

総合評価	<p>公社等自己評価</p> <p>設備利用支援のため、高度分析器機、精密測定器、材料試験機の修繕、校正を行ったほか、利用に関する情報をメルマガの配信やHPの更新にて都度実施している。 今後も企業巡回訪問や利用者満足度調査等を通じて企業ニーズを取り入れながら業務改善に取り組み、質の高いサービスの提供を図る。</p>	<p>県所管部課二次評価</p> <p>コロナ禍の影響があった中、積極的な情報発信や丁寧な対応等を行うことによって、全ての活動指標において目標値を達成させるとともに、ウェブ配信による研修の実施など事業の充実に努めている。 今後も、ポストコロナにおける企業ニーズの変化に的確に対応し、取組の充実に努められる。</p>
	<p>評価 (A:良好、B:ほぼ良好、C:やや課題あり、D:課題多い)</p> <p>改革工程 A 活動内容 A 財務内容 B 組織運営 B</p>	<p>評価 (A:良好、B:ほぼ良好、C:やや課題あり、D:課題多い)</p> <p>改革工程 A 活動内容 A 財務内容 B 組織運営 B</p>
	<p>目標達成度</p>	<p>公社等改革推進委員会三次評価</p> <p>活動内容については、コロナ禍においても機械技術センターの効果的な管理運営により、いずれの指標も達成していることは評価できる。 財務内容については、概ね健全な運営状況ではあるが、県補助金等比率では昨年度に続き目標値を達成できておらず、今後は自己収入の確保にも努める必要がある。 今後も県機械技術センターの適正な管理運営に努めるとともに、企業のニーズに的確に対応した活動の充実に努められる。</p>